

東村山は女性が暮らしやすい!?

セクハラ・DV・性暴力を

社会の問題として解決する



セクシャル・ハラスメント(セクハラ)やドメスティック・バイオレンス(DV)、性暴力事件での不当な司法判断など女性の人権をないがしろにした社会の実態がようやく表面化してきている。そこで、東京・生活者ネットワークは昨年7月「女性が暮らしやすいまち・女性の安全安心調査プロジェクト」を立ち上げ、法や制度の学習会、当事者・支援者へのヒヤリング、専門機関の視察などを通し、各自治体が「実施可能な施策を取り入れているか」の質問を作成、今年2月に調査、6月に結果を記者発表した。

調査は都内23区26市に行い、1市を除く48自治体から回答を得た。

女性が暮らしやすいまちの度合いを「セクハラ対策」(DV対策)「性暴力対策」の視点で評価し、合計点数をランキングにまとめた(別表)。東村山市は総合20位(35点)、その内容を見てみよう。

セクハラ対策
(東村山市は3位/48自治体)

条例や計画にセクハラ対策が明記されていることや、職員の研修に派遣職員も含まれている事、啓発手段が4つ以上あることなどが評価された。が、相談窓口職員以外の第三者(あるいは第三者機関)の視点がないことが課題であった。

DV対策 (同24位)

相談員として専門性を持つ正規・非正規職員が雇用されていることは評価された。デートDV予防啓発が高校では行われているが、中学校では行われておらず啓発冊子の配布もない。被害者が何度も被害状況を話さなくては共同通シートがないことなどが順位を下げる原因となっていた。

性暴力対策 (同34位)

セクハラ・DVの相談カードを市庁舎以外でも、公民館のトイレや薬局等に置くことで啓発が図られているにもかかわらず、相談支援にかかわる担当者の研修が行われていない、ワンストップ支

東京・生活者ネットワーク 女性の安全・安心自治体調査
結果ランキング

総合ランキング ()内は点数

1位	日野市(54) 100点満点で1位でも54点。平均33.92点
2位	八王子市(49)
3位	国分寺市(47)
4位	港区(46) 世田谷区(46) 中野区(46) 豊島区(46)
8位	文京区(42)
9位	大田区(41) 江戸川区(41)
11位	杉並区(40)
12位	江東区(39) 目黒区(39) 足立区(39)
15位	武蔵野市(38) 府中市(38)
17位	荒川区(36) 町田市(36) 西東京市(36)
20位	新宿区(35) 墨田区(35) 練馬区(35) 葛飾区(35) 東村山市(35) 東久留米市(35)
21位~	昭島市(34) 調布市(34) 品川区(33) 立川市(31) 福生市(31) 多摩市(31) 北区(30) 千代田区(29) 台東区(29) 三鷹市(29) 国立市(29) 東大和市(28) 小金井市(27) 稲城市(27) 板橋区(26) 小平市(24) 狛江市(24) 清瀬市(24) 武蔵村山市(23) 羽村市(23) 中央区(21) あきる野市(21) 渋谷区(11)

セクハラ3位:15点
DV:12点
性暴力:5点
全体:3点

援事業(SARC)の周知がされていない、子どもへの性暴力被害への取組みがない、民間支援団体との連携がないことなど、取り組みの少なさが点数を下げてしまっていた。

この調査を通して、市として未実施のことが多くあることがわかった。そしてそのほとんどが、それほどこのお金をかけずにできるものばかり。東村山・生活者ネットワークは私たちのまちが女性にとって暮らしやすくなるよう、施策の実現、関係部署や支援団体との連携を後押ししていきたい。

トピックス

新型コロナ対策
会派で市に要望

- PCR検査センターの早期開設
- 感染者の詳細公表
- 障がい者及び事業所への支援
- 子どもの見守り体制強化



プロジェクトメンバーによるワークショップ
2019年8月



← 記者会見の様子は こちらから